

各 位

デンカ株式会社

当社最大の海外事業拠点であるシンガポールでの記念パーティ開催のお知らせ

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉高紳介）は、10月16日、シンガポールにおきまして「シンガポール進出35周年、デンカ創立100周年、シンガポール建国50周年」を記念したパーティを開催しましたのでお知らせいたします。

今年はシンガポール建国50周年の記念すべき年であり、会社創立100周年を迎えるデンカ株式会社にとっても、シンガポール進出35周年の節目の年であります。

デンカグループのシンガポール進出は、1980年にメルバウ地区のSingapore Petrochemical Complexの一員として、アセチレンブラックの製造販売のためにデンカシンガポールを設立したことに始まりました。その後、溶融シリカ（トアス地区）、スチレン系樹脂（セラヤ地区）、ファッション用塩ビ合成繊維「トヨカロン」（トアス・サウス地区）の計4工場を設立し、生産品目の拡充と能力増強を経て、現在では売上高が6億USドルに拡大しています。

2009年に設立したシンガポールに本社を置く持株会社、デンカケミカルズホールディングス・アジアパシフィックは、傘下にベトナムのビニテープの工場と、特殊混和材の事業統括会社、マレーシアの生産拠点を含めて、アセアン全体で計5社の企業集団となっております。

10月16日にシンガポール・マンダリンホテルで開催した記念パーティには、Economic Development Boardのリム・コック・キアンAMDを始め、JTC Corporation、A*Starなどのシンガポール政府関係者、竹内春久駐シンガポール日本国大使、そして取引先、事業運営にご支援いただいている皆さまの、多数のご出席を頂きました。

パーティの席上吉高社長より、シンガポール建国50周年のお祝いと、長年ご支援を頂いている皆さまへの感謝の言葉をお伝えし、加えてシンガポール各社のさらなる事業拡大を図り、シンガポールを生産拠点のみならず東南アジアにおけるヘッドクォーターと位置づけ、未来に向けた研究開発や、シンガポール国立大学への教育支援など社会貢献も積極的に進め、引き続きシンガポールとともに発展していく決意を表明いたしました。



【本件に関する問い合わせ先】 CSR・広報室 03-5290-5511